

広島市町内会・自治会等実態調査報告書

調査4 町内会・自治会未結成地域の住民を対象としたアンケート調査（市民意識アンケート）

令和3年5月

目次

アンケート調査の結果.....	1
1. 回答者の属性について	2
2. 近所付き合いの程度について.....	9
3. 地域への認識について	12
4. 町内会がないことについて	13
5. 地域活動への参加について	14
6. 町内会の加入について	17
7. 町内会以外の団体との関わりについて	22
8. 自由記入	25

アンケート調査の結果

【調査の目的】

本市の地域コミュニティの活性化の方策を研究し、「地域コミュニティ活性化ビジョン（仮称）」として取りまとめ、計画的に取り組んでいくことにしており、本調査は、町内会・自治会等の現状や課題を把握し、ビジョン策定の基礎資料とすることを目的としている。

【調査対象】

- (1) 調査対象 令和 2 年 4 月 30 日現在、町内会・自治会がない地域にお住いの 18 歳以上の市民
- (2) 配布数（抽出数） 1,000 人
- (3) 抽出方法 町内会・自治会がない地域に登録されている住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布、回収
- (5) 調査期間 令和 2 年（2020 年）8 月 28 日（金）発送～9 月 30 日（水）（締切設定日）
（当初、調査期間は、9 月 30 日（水）までの予定であったが、10 月 16 日（金）到着分まで受け付けた。）

【回収結果】

- (1) 回収数 439 件（回収率 43.9%）

【報告書の見方】

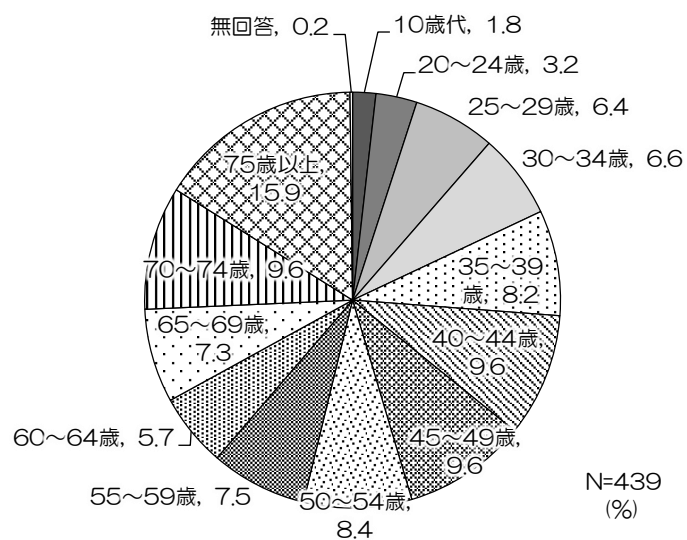
- (1) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。従って、比率の数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を分母として算出した。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (3) 表やグラフ、文章において、選択肢等の表現を一部省略している場合がある。
- (4) 自由記述の表現は、趣旨を変えない範囲で一部要約、又は割愛している。

1. 回答者の属性について

問1. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ○)

1. 10歳代	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75歳以上
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

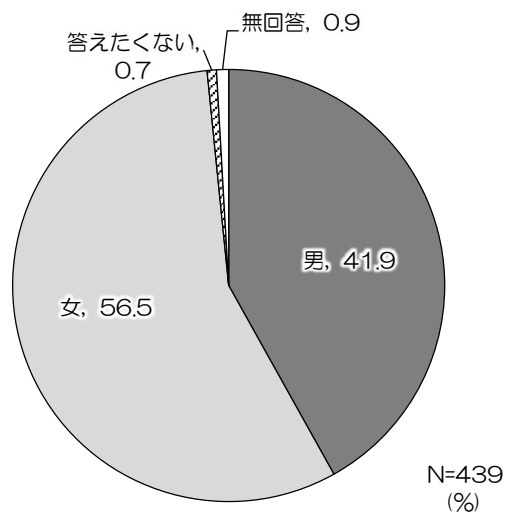
○ 「75歳以上」が最も多く15.9%、次いで「40～44歳」、「45～49歳」、「70～74歳」が9.6%となっている。



問2. あなたの性別を教えてください。(1つだけ○)

1. 男	2. 女	3. 答えたくない
------	------	-----------

○ 「女」が56.5%、「男」が41.9%、「答えたくない」が0.7%となっている。

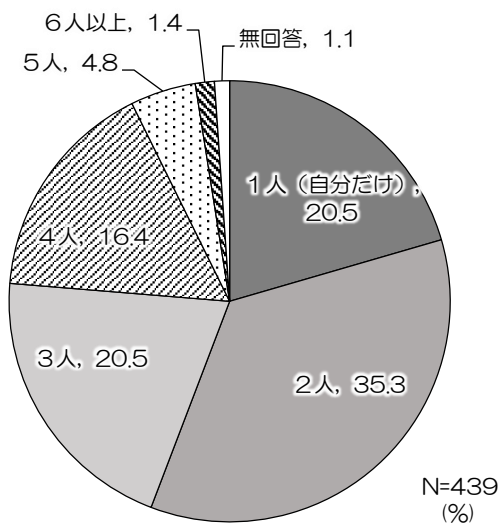


問3. あなたを含む同居家族の人数を教えてください。（1つだけ○）

（注）単身赴任などで家族と別居中の場合は、別居の人を除いてお答えください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 1人（自分だけ） | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人 |
| 3. 3人 | 6. 6人以上 |

○ 「2人」が最も多く35.3%、次いで「1人（自分だけ）」、「3人」が20.5%となっている。

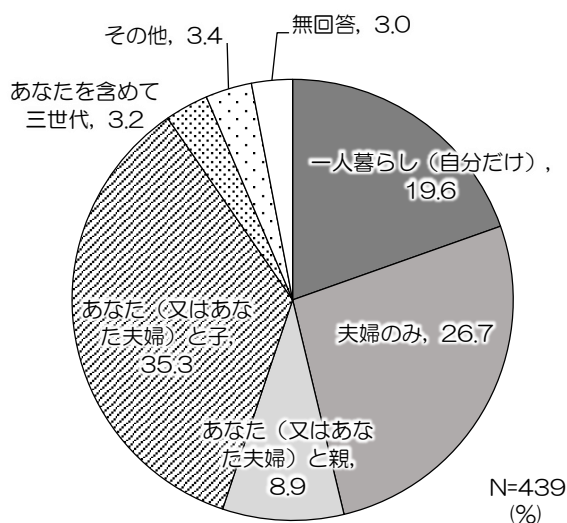


問4. あなたを含む同居家族の構成を教えてください。（1つだけ○）

（注）単身赴任などで家族と別居中の場合は、別居の人を除いてお答えください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 一人暮らし（自分だけ） | 4. あなた（又はあなた夫婦）と子 |
| 2. 夫婦のみ | 5. あなたを含めて三世代 |
| 3. あなた（又はあなた夫婦）と親 | 6. その他（ ） |

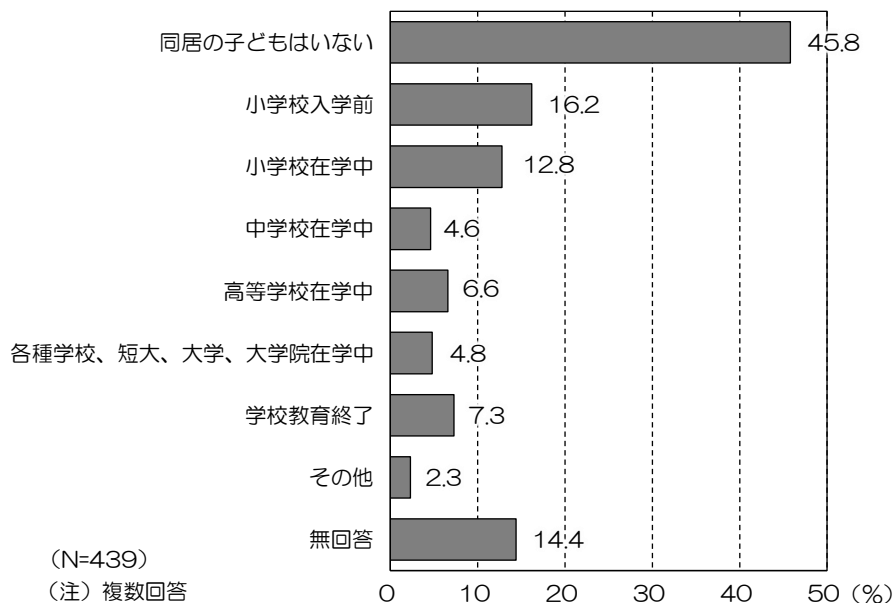
○ 「あなた（又はあなた夫婦）と子」が最も多く35.3%、次いで「夫婦のみ」が26.7%、「一人暮らし（自分だけ）」が19.6%となっている。



問 5. 同居しているお子さんの状況を教えてください。（該当するものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 同居している子どもはいない | 5. 高等学校在学中 |
| 2. 小学校入学前 | 6. 各種学校、短大、大学、大学院在学中 |
| 3. 小学校在学中 | 7. 学校教育終了 |
| 4. 中学校在学中 | 8. その他（ ） |

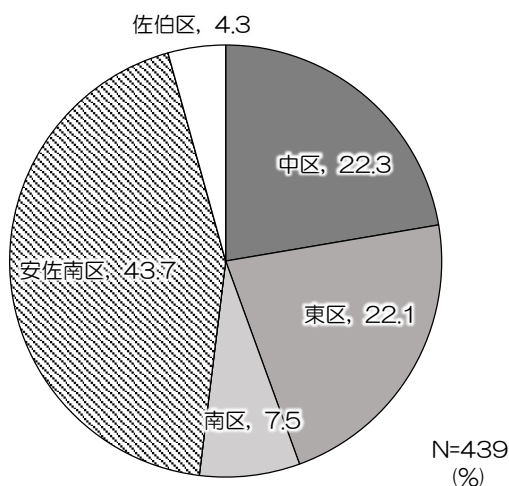
○ 「同居の子どもはいない」が最も多く 45.8%、次いで「小学校入学前」が 16.2%となっている。



問 6. あなたがお住いの住所を教えてください。（直接記入）

（ ）区（ ）町（ ）丁目

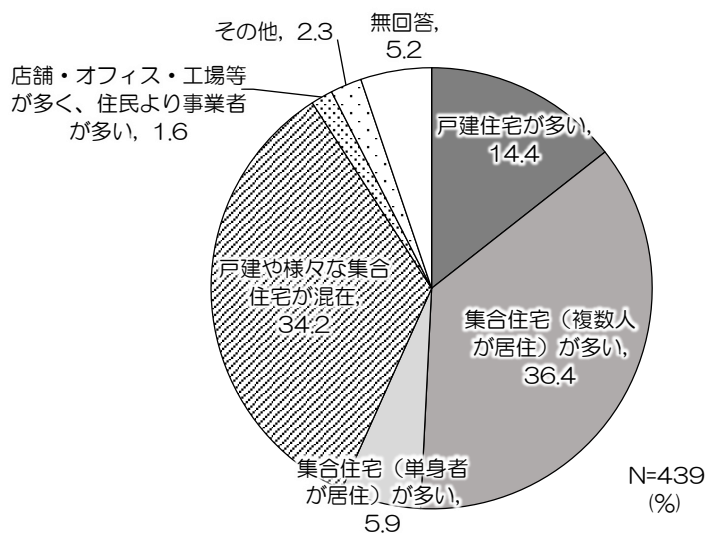
○ 「安佐南区」が最も多く 43.7%、次いで「中区」が 22.3%、「東区」が 22.1%となっている。



問 7 あなたのお住まいの地域の住宅の状況を教えてください。(1つだけ○)

1. 戸建住宅が多い
2. マンション・アパート等の集合住宅(複数人で居住するタイプのもの)が多い
3. マンション・アパート等の集合住宅(単身者が居住するタイプのもの)が多い
4. 住宅地だが、戸建住宅や様々な集合住宅のタイプが混在している
5. 住宅よりも店舗・オフィス・工場等が多く、住民より事業者が多い
6. その他(具体的に)

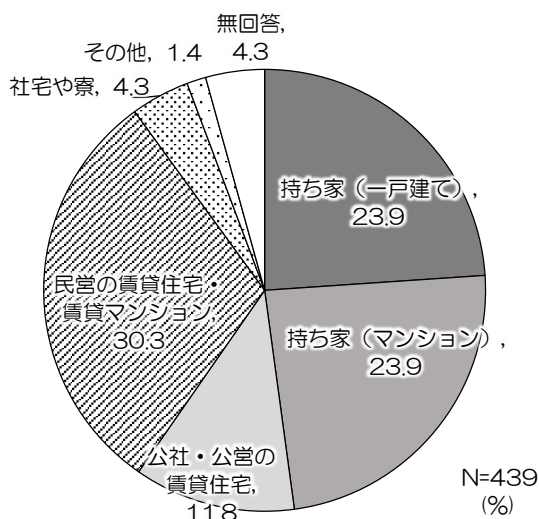
○ 「集合住宅(複数人が居住)が多い」が最も多く 36.4%、次いで「戸建や様々な集合住宅が混在」が 34.2%、「戸建住宅が多い」が 14.4%となっている。



問 8. あなたがお住いの住居を教えてください。(1つだけ○)

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(マンション)
3. 公社・公営の賃貸住宅
4. 民営の賃貸住宅・賃貸マンション
5. 社宅や寮
6. その他(具体的に)

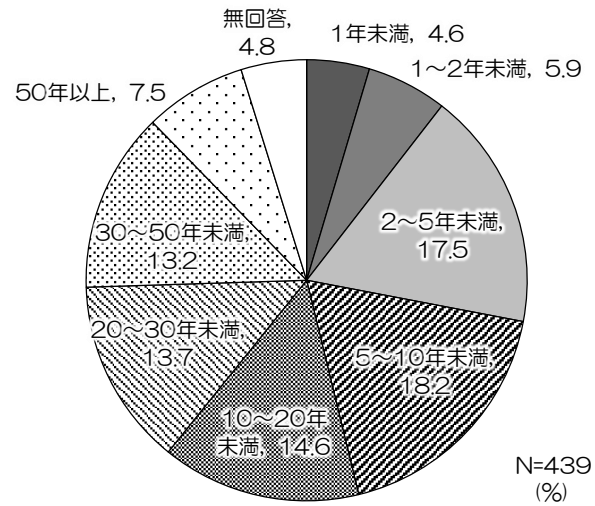
○ 「民営の賃貸住宅・賃貸マンション」が最も多く 30.3%、次いで「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(マンション)」が 23.9%となっている。



問 9. 現住所（地域）にはどのくらいお住まいですか。（1つだけ○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1 年未満 | 5. 10～20 年未満 |
| 2. 1～2 年未満 | 6. 20～30 年未満 |
| 3. 2～5 年未満 | 7. 30～50 年未満 |
| 4. 5～10 年未満 | 8. 50 年以上 |

○ 「5～10 年未満」が最も多く 18.2%、次いで「2～5 年未満」が 17.5%、「10～20 年未満」が 14.6%となっている。



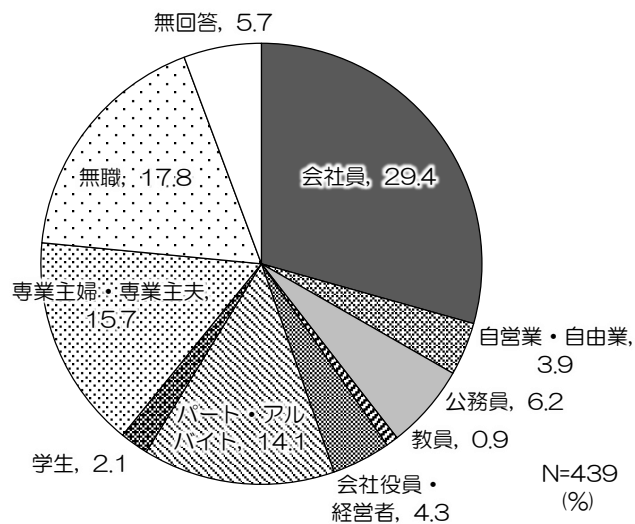
問 10. あなたの職業を教えてください。（主なものを1つに○）

1. 会社員
2. 自営業・自由業
3. 公務員
4. 教員
5. 会社役員・経営者
6. パート・アルバイト
7. 学生
8. 専業主婦、専業主夫
9. 無職（退職者の場合は退職前の職業の番号を記入してください（ ））

問 12 へ

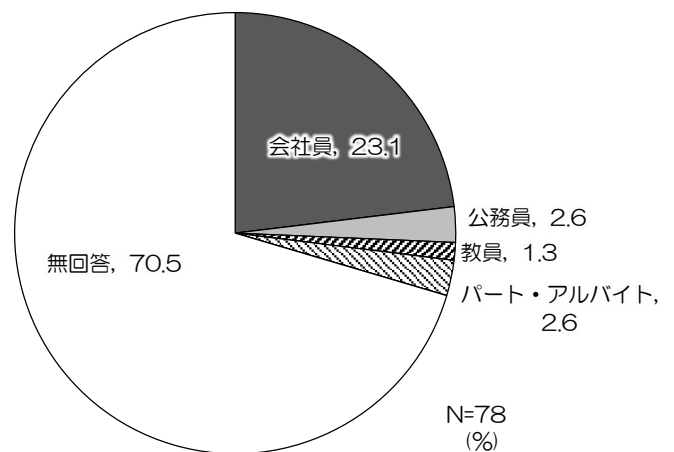
【職業】

- 「会社員」が最も多く 29.4%、次いで「無職」が 17.8%、「専業主婦・専業主夫」が 15.7%となっている。



【退職前の職業】

- 回答があったもののうち、「会社員」が最も多くなっている。

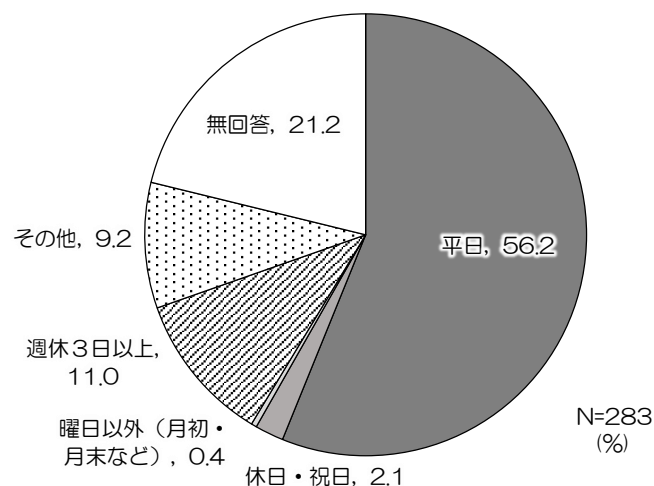


問 11. 「学生」「専業主婦、専業主夫」「無職」以外を回答した方にお聞きします。主な勤務曜日、勤務形態を教えてください。

(勤務曜日) (1 つだけ○)

1. 平日	4. 週休 3 日以上
2. 休日・祝日	5. その他 (具体的に)
3. 曜日以外 (月初・月末など)	

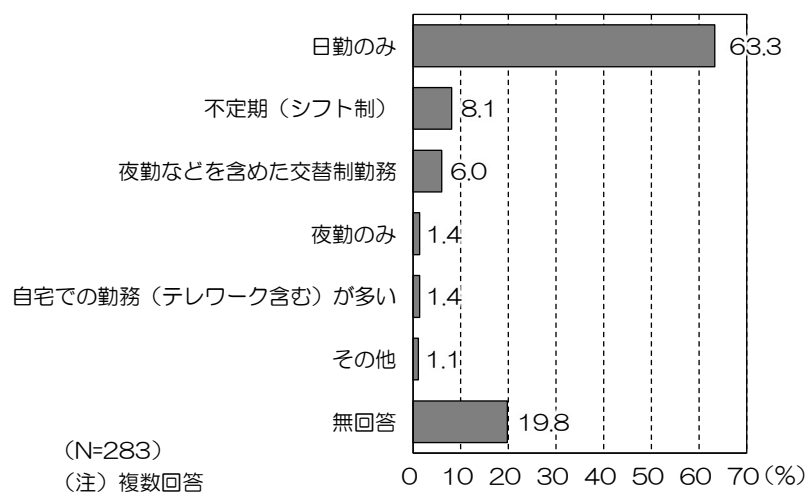
○ 回答があったもののうち、「その他」を除いて、「平日」が最も多く、次いで「週休 3 日以上」、「休日・祝日」の順となっている。



(勤務形態) (該当するものに○)

1. 日勤のみ	4. 不定期 (シフト制)
2. 夜勤のみ	5. 自宅での勤務 (テレワーク含む) が多い
3. 夜勤などを含めた交替制勤務	6. その他 (具体的に)

○ 「日勤のみ」が最も多く 63.3%、次いで「不定期 (シフト制)」、「夜勤などを含めた交替制勤務」の順となっている。

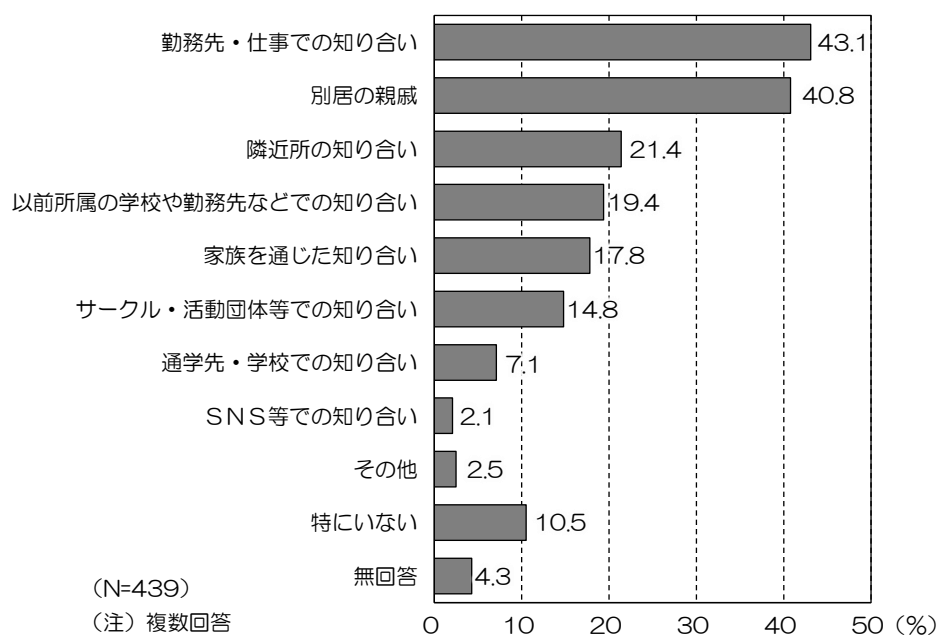


2. 近所付き合いの程度について

問 12. あなたが家族以外で主に交流がある人はどなたですか。（3つまで○）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 別居の親戚 | 6. 所属するサークル・活動団体等での知り合い |
| 2. 勤務先・仕事での知り合い | 7. 隣近所の知り合い |
| 3. 通学先・学校での知り合い | 8. SNS等での知り合い |
| 4. 家族を通じた知り合い | 9. その他（具体的に |
| 5. 以前所属していた学校や勤務先などでの知り合い | 10. 特にいない |

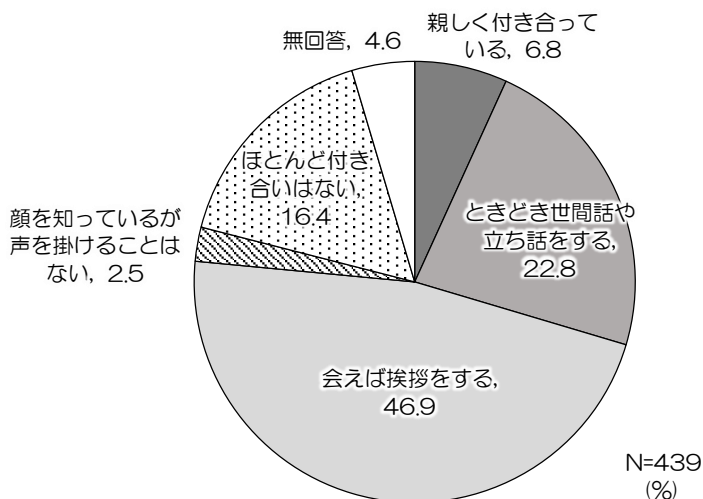
○ 「勤務先・仕事での知り合い」が最も多く、次いで「別居の親戚」、「隣近所の知り合い」の順となっている。



問 13. あなたはご近所付き合いをどの程度していますか。(1つだけ○)

1. お互いの家を行き来する、困りごとを相談するなど、親しく付き合っている
2. ときどき世間話や立ち話をする
3. 会えば挨拶をする
4. 顔を知っているが声を掛けることはない
5. ほとんど付き合いはない

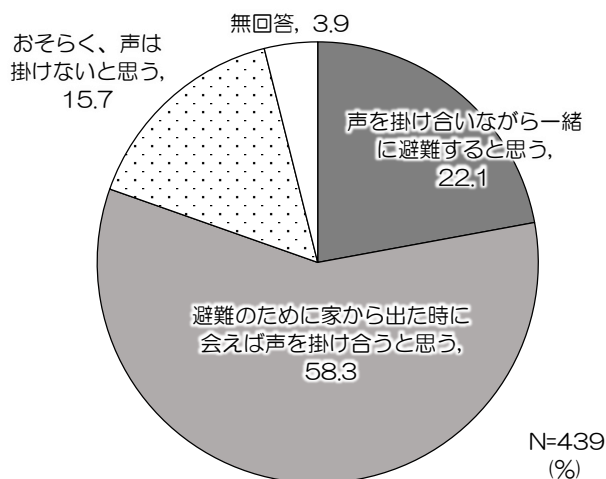
○ 「会えば挨拶をする」が最も多く 46.9%、次いで「ときどき世間話や立ち話をする」が 22.8%、「ほとんど付き合いはない」が 16.4%となっている。



問 14. あなたは、大規模災害が発生した時に、近所の人と声を掛け合いながら避難すると思いますか。(1つだけ○)

1. 隣近所と声を掛け合いながら一緒に避難すると思う
2. 避難のために家から出た時に会えば声を掛け合おうと思う
3. おそらく、声は掛けないと思う

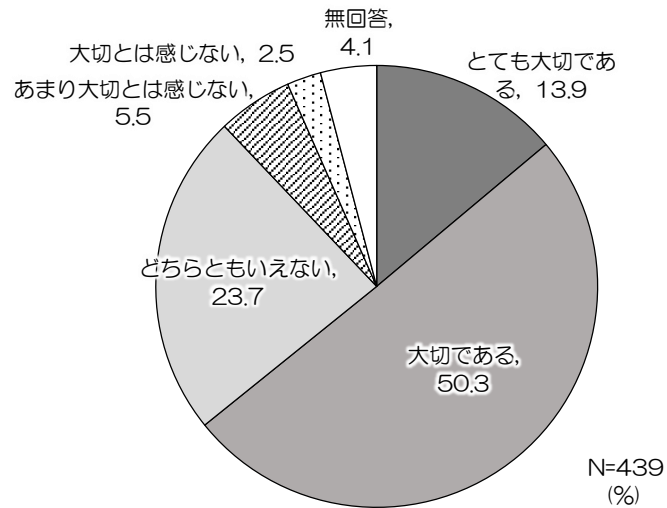
○ 「避難のために家から出た時に会えば声を掛け合おうと思う」が 58.3%、「声を掛け合いながら一緒に避難すると思う」が 22.1%、「おそらく、声は掛けないと思う」が 15.7%となっている。



問 15. あなたは地域とのつながりは大切だと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. とても大切である | 4. あまり大切とは感じない |
| 2. 大切である | 5. 大切とは感じない |
| 3. どちらともいえない | |

○ 「とても大切である」と「大切である」の合計が64.2%、「大切とは感じない」と「あまり大切とは感じない」の合計が8.0%となっている。



3. 地域への認識について

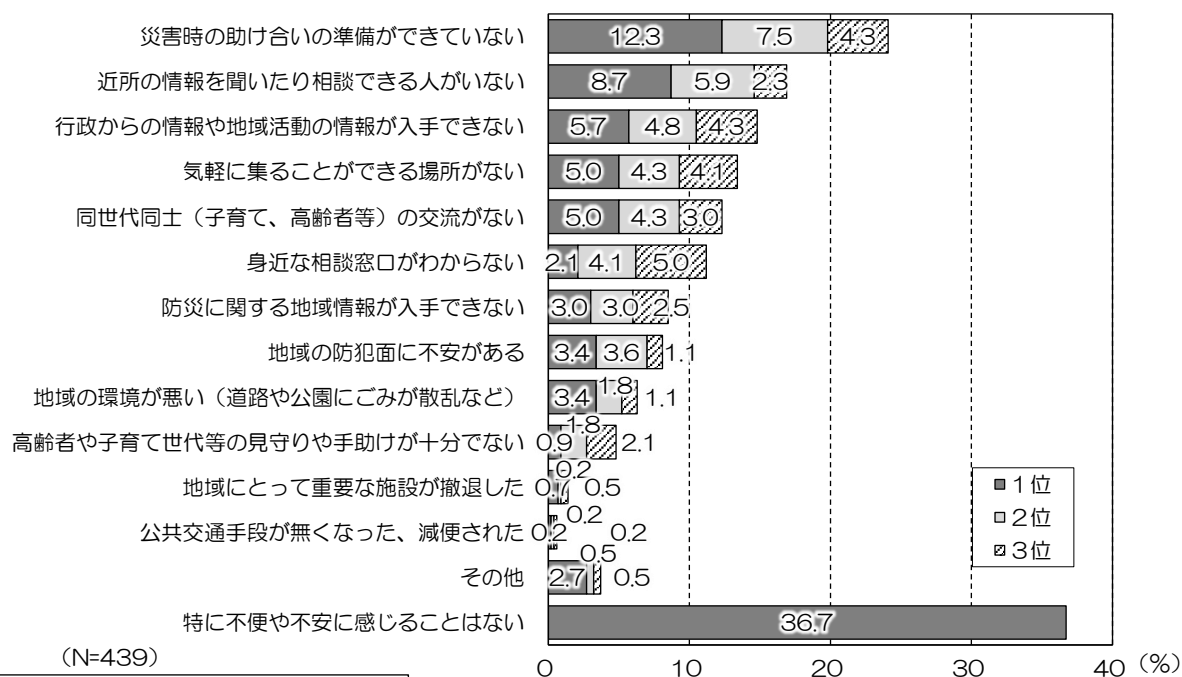
問 16. あなたは地域で生活する上で不便や不安に感じていることがありますか。（不便・不安だと感じている順に3つまで回答欄に番号を記入）

1. 近所の情報を聞いたり簡単な相談のできる人がいない
2. 同世代同士（子育て世代、高齢者など）の交流がない
3. 気軽に集まることができる場所がない
4. 行政からの情報や地域の活動に関する情報が入手できない
5. 防災に関する地域情報（避難所、安全な避難経路など）が入手できない
6. 災害時の助け合いの準備ができていない
7. 地域の防犯面に不安がある（不審者が出る、空き巣が発生するなど）
8. 地域の環境が悪い（道路や公園にごみが散乱、ごみ出しのルールが守られないなど）
9. 高齢者や子育て世代等の見守りや手助けが十分でない
10. 身近な相談窓口（民生委員など）がわからない
11. 公共交通手段が無くなった、減便された
12. 地域にとって重要な施設が撤退した（小学校、保育所、医院、スーパー等）
13. その他（具体的に
14. 特に不便や不安に感じることはない

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 地域で生活する上で不便や不安に感じていることのうち、「災害時の助け合いの準備ができていない」が最も多く、次いで「近所の情報を聞いたり相談できる人がいない」、「行政からの情報や地域活動の情報が入手できない」の順となっている。

一方、全体では「特に不便や不安に感じることはない」が最も多く 36.7%となっている。



（注）無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 89.8%
 第2位 42.0%
 第3位 31.0%

4. 町内会がないことについて

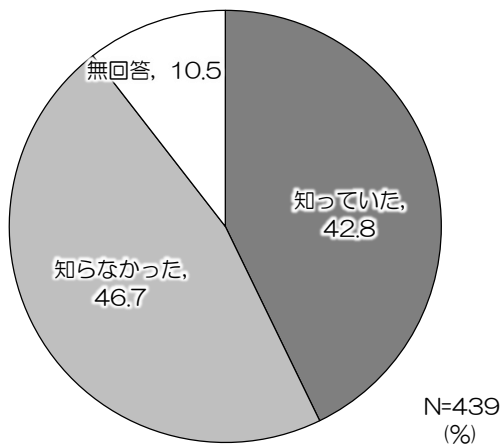
問 17. あなたは、自分が住んでいる地域に町内会・自治会がないことを、知っていますか。(1 つだけ○)

1. 知っていた

2. 知らなかった

⇒問 19へ

○ 「知らなかった」が46.7%、「知っていた」が42.8%となっている。



問 18. 「知っていた」と回答した人にお聞きします。あなたは、自分が住んでいる地域に町内会・自治会がないことを、どのようにして知りましたか。(1 つだけ○)

1. 町内会費を支払っていないことに気づいていたため

2. 回覧板が回ってこないため

3. 町内の清掃活動などの地域活動が行われているのを見たことがないため

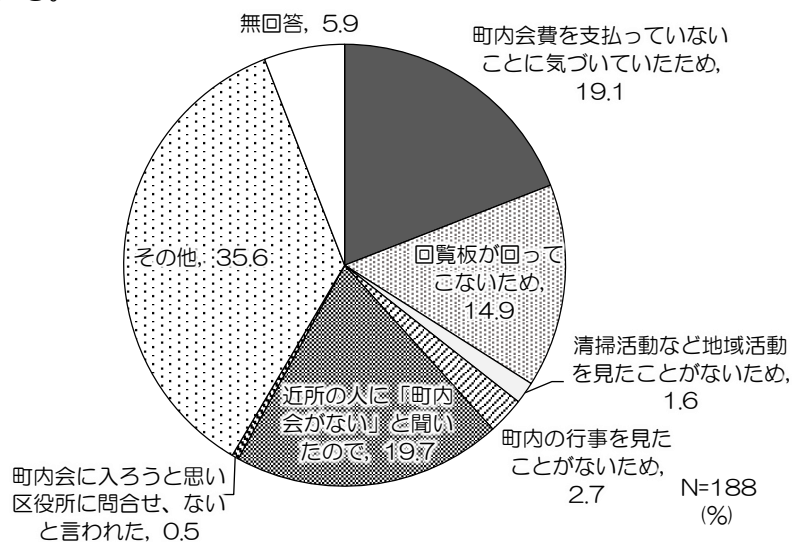
4. 町内の行事が開催されているのを見たことがないため

5. 近所の人に「町内会がない」と聞いたので

6. 町内会に入ろうと思い区役所に問い合わせたところ、町内会がない地域と言われたため

7. その他 ()

○ 「その他」を除いて、「近所の人に「町内会がない」と聞いたので」が最も多く 19.7%、次いで「町内会費を支払っていないことに気づいていたため」が 19.1%、「回覧板が回ってこないため」が 14.9%となっている。

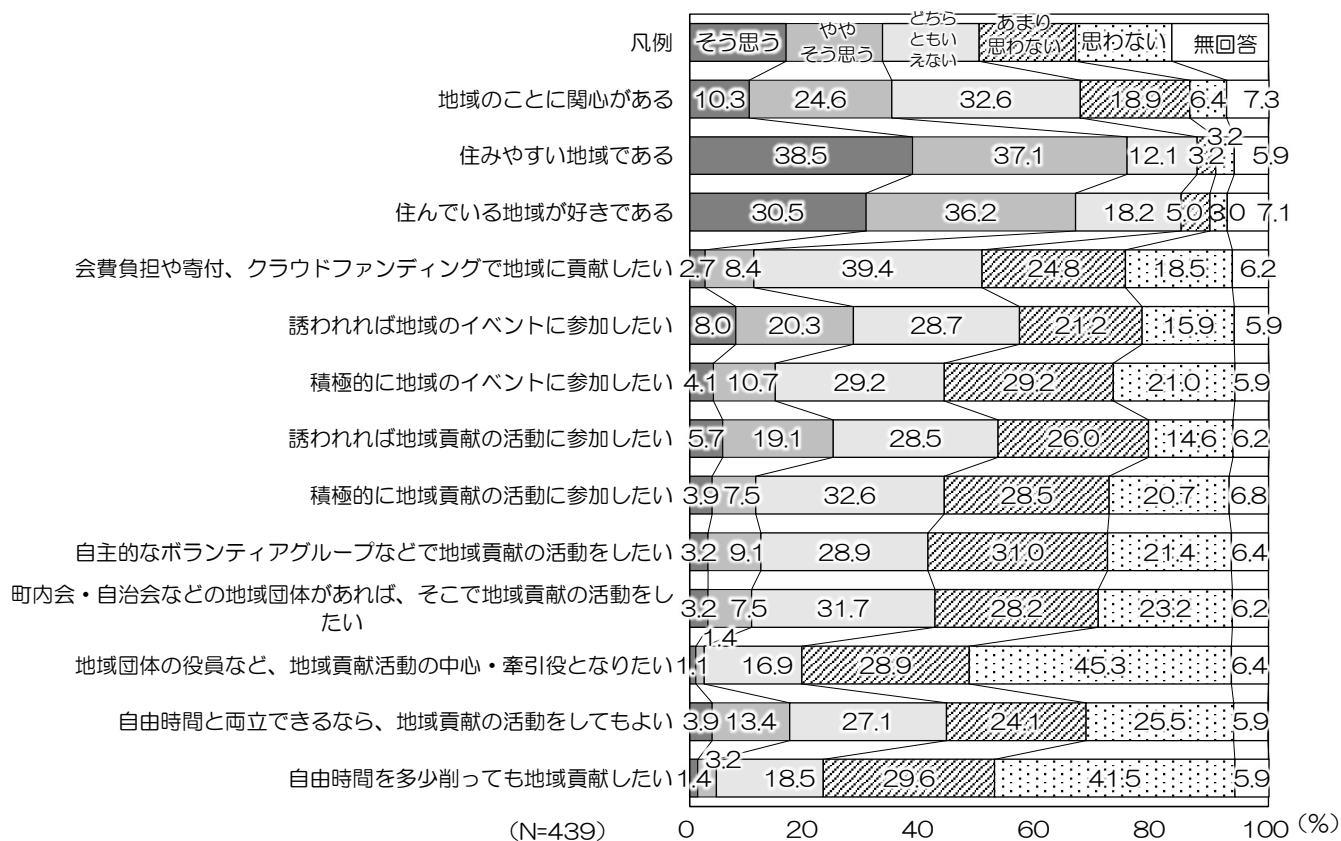


5. 地域活動への参加について

問 19. あなたは自分の暮らす地域のことをどう思っていますか。（それぞれ1つずつ○）

地域への参加意欲	そう 思 う	やや そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
(1) 地域のことに関心がある	1	2	3	4	5
(2) 住みやすい地域である	1	2	3	4	5
(3) 住んでいる地域が好きである	1	2	3	4	5
(4) 会費負担や寄付、クラウドファンディングで地域に貢献したい	1	2	3	4	5
(5) 誘われれば地域のイベント（祭りなど）に参加したい	1	2	3	4	5
(6) 積極的に地域のイベント（祭りなど）に参加したい	1	2	3	4	5
(7) 誘われれば地域貢献の活動に参加したい	1	2	3	4	5
(8) 積極的に地域貢献の活動に参加したい	1	2	3	4	5
(9) 自主的なボランティアグループなどで地域貢献の活動をしたい	1	2	3	4	5
(10) 町内会・自治会などの地域団体があれば、そこで地域貢献の活動をしたい	1	2	3	4	5
(11) 地域団体の役員など、地域貢献活動の中心・牽引役となりたい	1	2	3	4	5
(12) 自由時間と両立できるなら、地域貢献の活動をしてよい	1	2	3	4	5
(13) 自由時間を多少削っても地域貢献したい	1	2	3	4	5

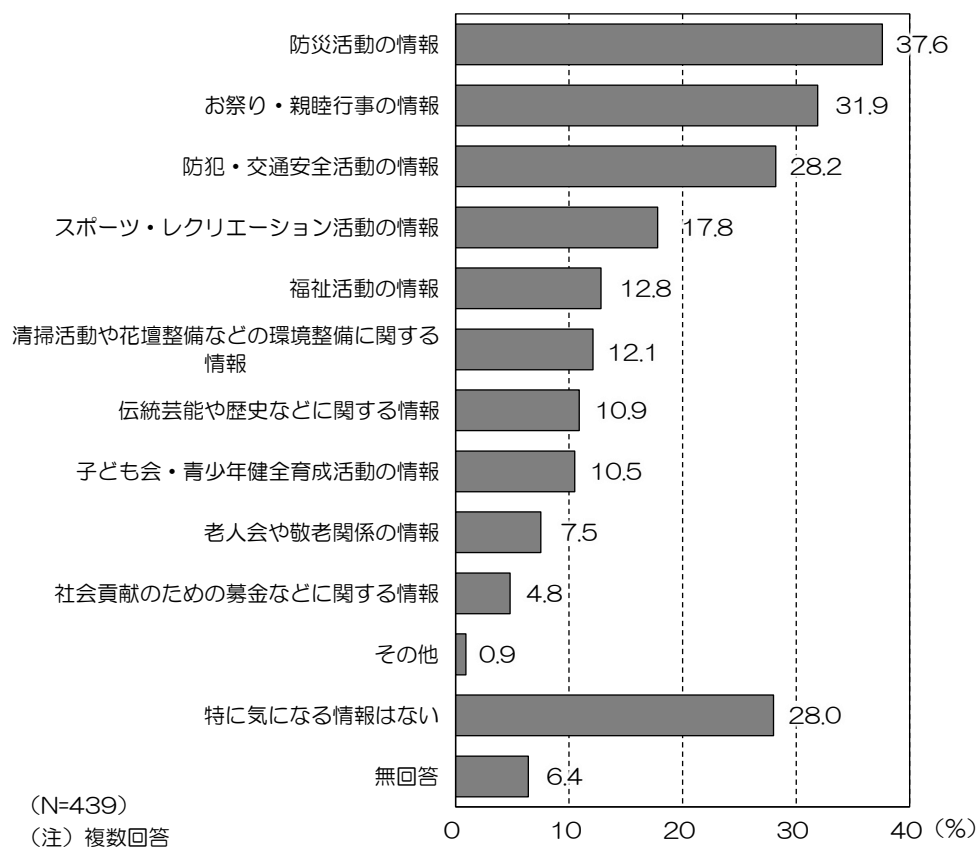
- 「思う」と「やや思う」の合計で、「住みやすい地域である」が最も多く 75.6%、次いで「住んでいる地域が好きである」が 66.7%、「地域のことに関心がある」が 34.9%となっている。
- 「思わない」と「あまり思わない」の合計で、「地域団体の役員など、地域貢献活動の中心・牽引役となりたい」が最も多く 74.2%、次いで「自由時間を多少削っても地域貢献したい」が 71.1%、「自主的なボランティアグループなどで地域貢献の活動をしたい」が 52.4%となっている。



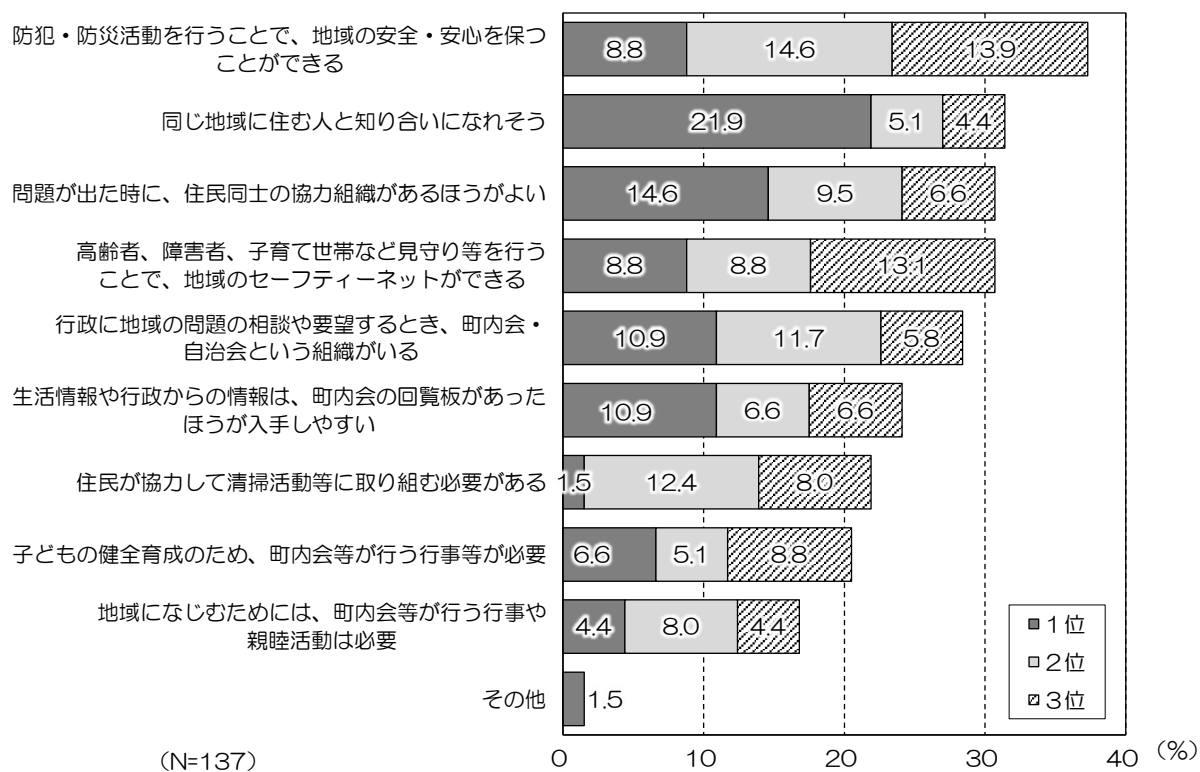
問 20. あなたは地域に関する情報でどのような内容を知りたいですか。（該当するものすべてに○）

1. お祭り・親睦行事（夏祭り、とんど、新年会など）の情報
2. スポーツ、レクリエーション活動（運動会の開催、スポーツ大会への参加成績等）の情報
3. 防災活動（防災訓練、避難所運営など）の情報
4. 防犯・交通安全活動（防犯パトロールなど）の情報
5. 福祉活動（社協だよりなど）の情報
6. 子ども会・青少年健全育成活動の情報
7. 老人会や敬老関係の情報
8. 地域の清掃活動や花壇整備などの環境整備に関する情報
9. 地区の伝統芸能や歴史などに関する情報
10. 社会貢献のための募金などに関する情報
11. その他（具体的に
12. 特に気になる情報はない

○ 「防災活動の情報」が最も多く、次いで「お祭り・親睦行事の情報」、「防犯・交通安全活動の情報」の順となっている。



- 「防犯・防災活動を行うことで、地域の安全・安心を保つことができる」が最も多く、次いで「同じ地域に住む人と知り合いになれそう」、「問題が出た時に、住民同士の協力組織があるほうがよい」の順となっている。



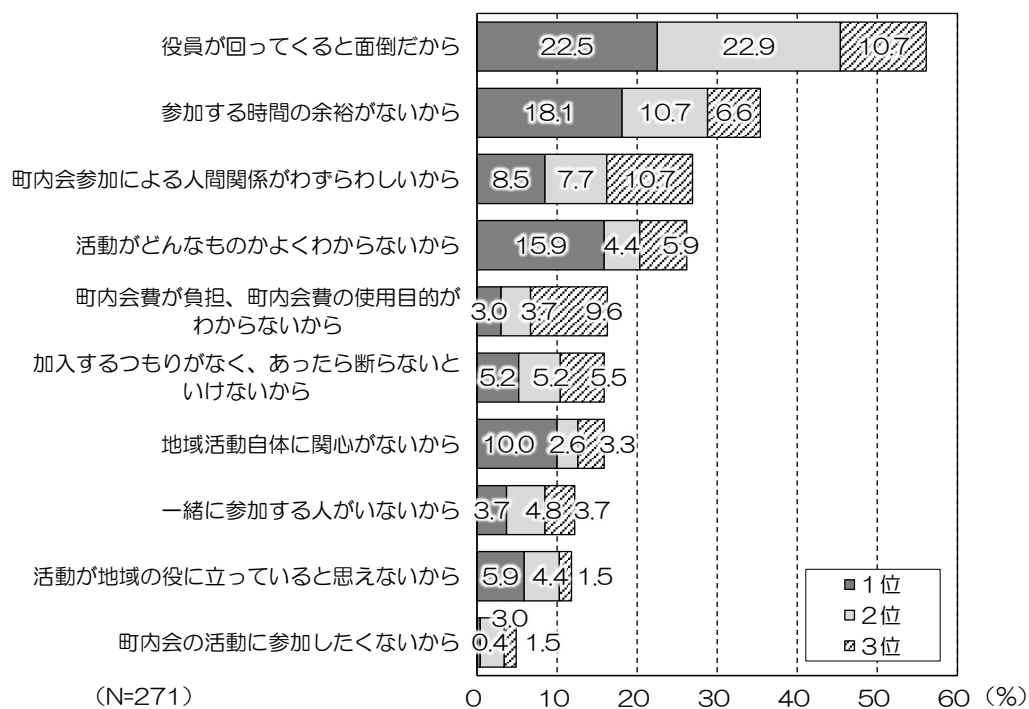
(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 89.8%
 第2位 81.8%
 第3位 71.6%

問 23. 「町内会がなくてもよい」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。（より当てはまるものから順に3つまで回答欄に番号を記入）（1つだけ○）

1. 町内会の活動がどんなものかよくわからないから
2. 町内会の活動が地域の役に立っていると思えないから
3. 町内会があっても参加する時間の余裕がないから
4. 町内会の活動と一緒に参加する人がいないから
5. 回覧板や清掃活動など、町内会の活動に協力したくないから
6. 役員が回ってくると面倒だから
7. 町内会に参加することで生じる人間関係がわずらわしいから
8. そもそも町内会に加入するつもりがなく、あったら断らないといけないから
9. 町内会費の支払いが経済的に負担、または町内会費の使用目的がわからないから
10. 地域活動自体に関心がないから

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 「役員が回ってくると面倒だから」が最も多く、次いで「参加する時間の余裕がないから」、「町内会参加による人間関係がわずらわしいから」の順となっている。



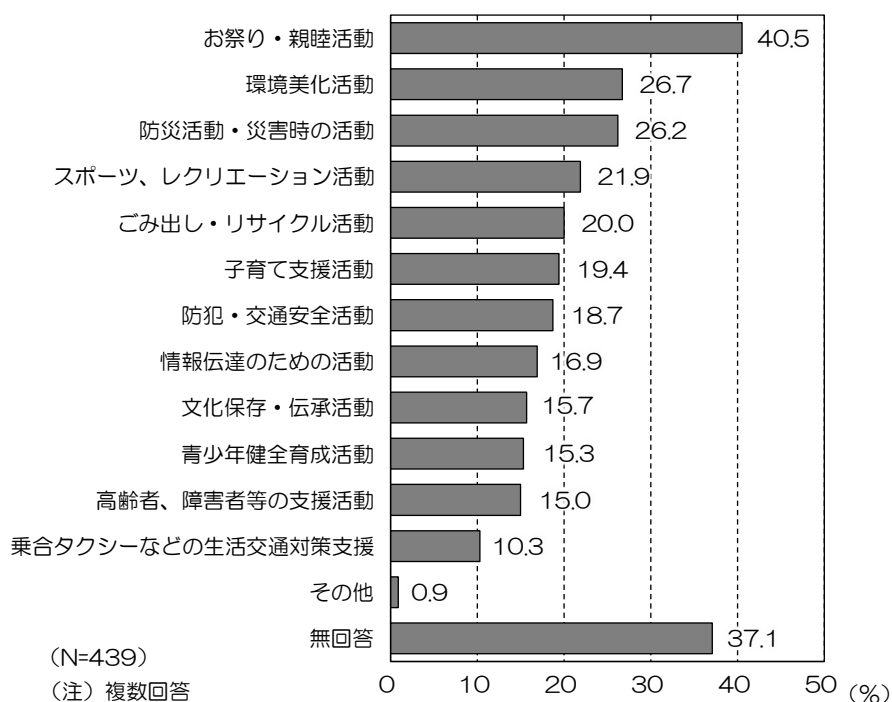
(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 93.2%
 第2位 69.4%
 第3位 59.0%

問 24. 町内会では以下のような活動が行われています。このうち、あなたが参加したい活動、あるいは、参加したくない活動はありますか。（それぞれ該当するものすべてに○）

活動の種類	参加 したい 活動	参加 したく ない 活動
1. お祭り・親睦活動（夏祭り、とんど、新年会など）		
2. スポーツ、レクリエーション活動（運動会、スポーツ大会など）		
3. ごみ出し・リサイクル活動（集積所の管理、資源回収）		
4. 環境美化活動（公園・道路清掃、花壇整備など）		
5. 防犯・交通安全活動（防犯パトロールなど）		
6. 防災活動・災害時の活動（防災訓練、避難所運営など）		
7. 青少年健全育成活動（登下校時の見守り、あいさつ活動、子ども会活動）		
8. 子育て支援活動（乳幼児保育への支援など）		
9. 高齢者、障害者等の支援活動（見守り、ごみ出し等の家事支援）		
10. 乗合タクシーなどの生活交通対策支援		
11. 文化保存・伝承活動（地区の伝統芸能、歴史資源など）		
12. 情報伝達のための活動（回覧板・屋外掲示板など）		
13. その他（具体的に ）		

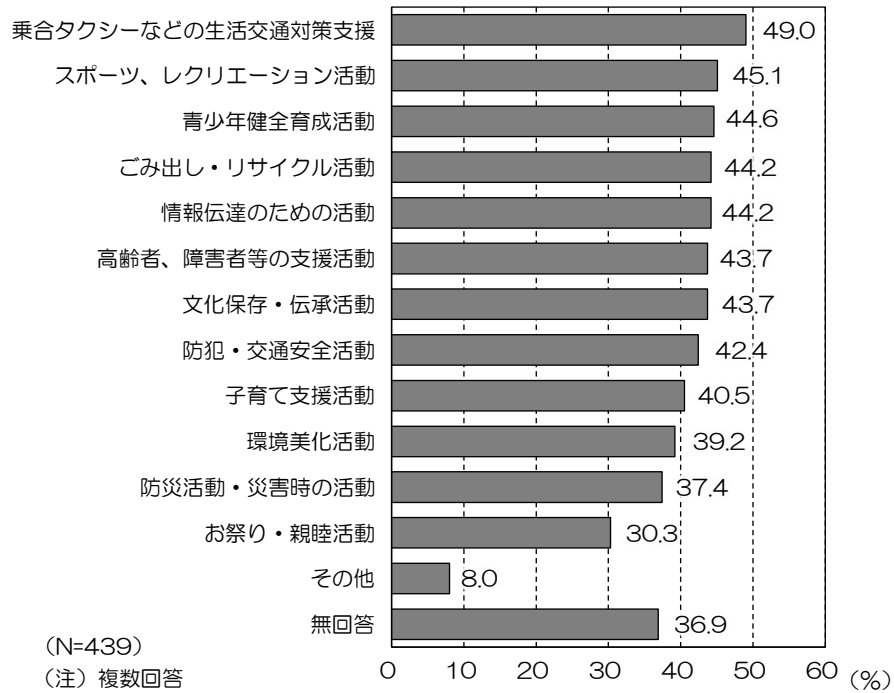
【参加したい活動】

○ 「お祭り・親睦活動」が最も多く、次いで「環境美化活動」、「防災活動・災害時の活動」の順となっている。



【参加したくない活動】

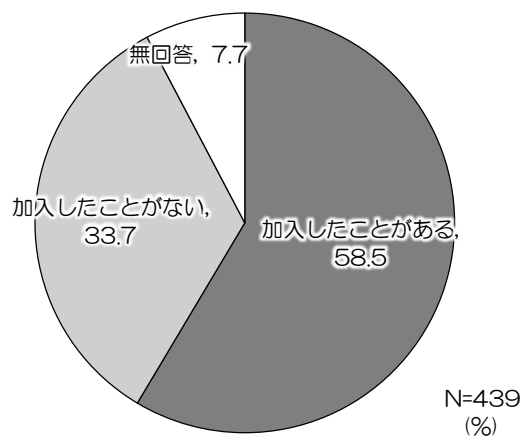
○ 「乗合タクシーなどの生活交通対策支援」が最も多く 49.0%、次いで「スポーツ、レクリエーション活動」が 45.1%、「青少年健全育成活動」が 44.6%となっている。



問 25. あなたは、これまで町内会・自治会に加入していたことがありますか。(1つだけ○)

1. 加入したことがある	2. 加入したことがない
--------------	--------------

○ 「加入したことがある」が 58.5%、「加入したことがない」が 33.7%となっている。



7. 町内会以外の団体との関わりについて

問 26. あなたは地域団体以外（※）のボランティア団体、NPO、市民活動団体、生涯学習団体などで活動していますか。している場合は、差し支えなければ団体名とどのような活動内容か教えてください。

※町内会・自治会、社会福祉協議会、自主防災組織、老人クラブ、子ども会、公衆衛生推進協議会、青少年健全育成連絡協議会、女性会、体育協会などの団体以外

（活動の有無）

1. 活動している	2. 活動していない	⇒問 29 へ
-----------	------------	---------

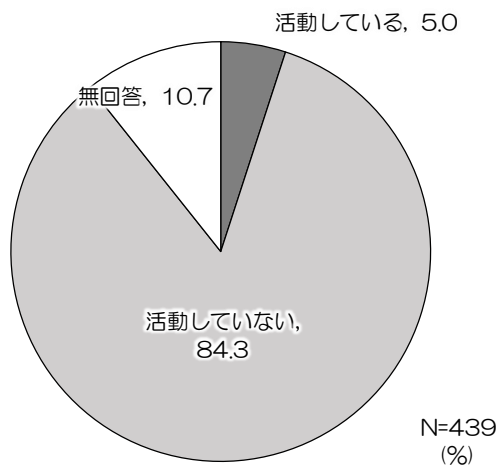
（団体名・活動内容）（その 1）

団体名	
活動内容	

（団体名・活動内容）（その 2）

団体名	
活動内容	

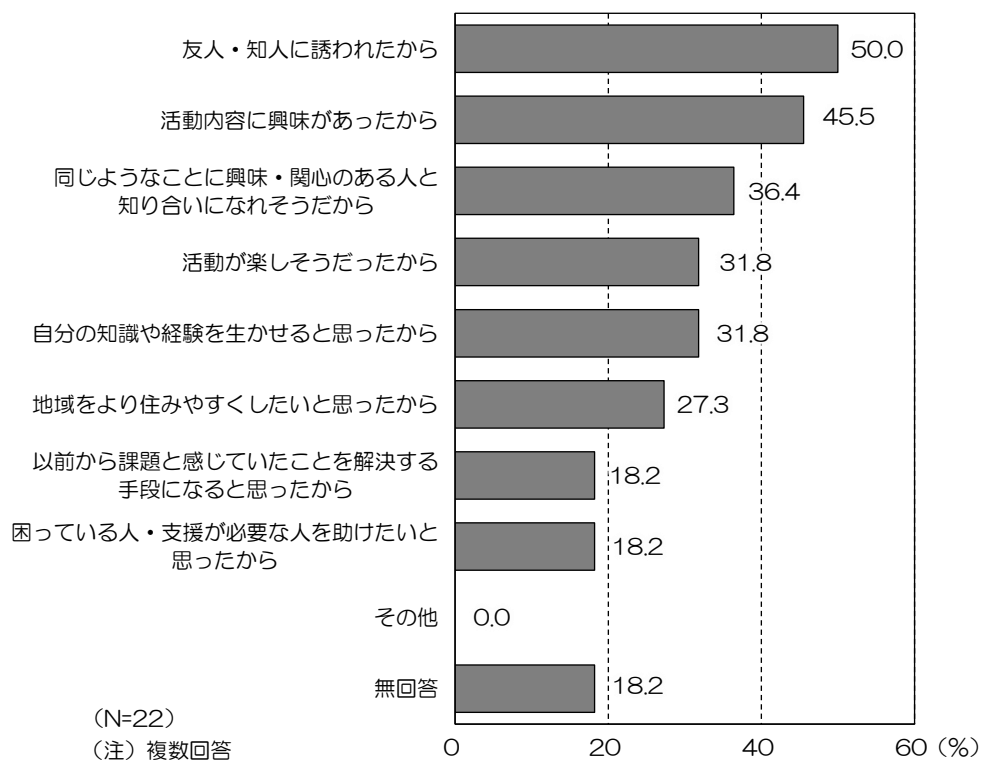
- 活動の有無については、「活動していない」が 84.3%、「活動している」が 5.0%となっている。
団体名・活動内容については、様々な記載内容となっている。



問 27. あなたはなぜ、問 26 で回答された団体で活動しようと思いましたか。(該当するものすべてに
○)

1. 活動内容に興味があったから
2. 活動が楽しそうだったから
3. 友人・知人に誘われたから
4. 自分と同じようなことに興味・関心のある人と知り合いになれそうだから
5. 以前から課題と感じていたことを解決する手段になると思ったから
6. 地域をより住みやすくしたいと思ったから
7. 困っている人・支援が必要な人を助けたいと思ったから
8. 自分の知識や経験を生かせると思ったから
9. その他（具体的に

○ 「友人・知人に誘われたから」が最も多く 50.0%、次いで「活動内容に興味があったから」が 45.5%、「同じようなことに興味・関心のある人と知り合いになれそうだから」が 36.4%となっている。



問 28. 問 26 で回答された団体で活動してみて良かった点、また、あまり良くなかった点は何ですか。
差し支えない範囲で教えてください。（直接記入）

良かった点	良くなかった点

【良かった点（全回答）】

（知り合いが増える・地域との繋がりが持てるなど）

- ・知り合いが増えた。
- ・自分と同じ関心のある人と知り合えたから。
- ・OB と知り合いになれた。
- ・地域の方とつながりができた。
- ・町内の方が声をかけてくださって、町内体操、ウォーキングができるようになった。
- ・同じマンション内でも、挨拶程度しかなかった住民の方達と深く関わりを持つことによって予期せぬ事態が発生するようなことが起こった際にもお互いに協力しあえる共生社会ができつつあることを実感する。
- ・地域に関心が持てた。他人事では地域は良くならない。

（楽しい・やりがいがあるなど）

- ・花を育てることが楽しい。
- ・社会貢献ができ、それが地域に役立ち評価される。活動を通じて多くの交流をもつことができる。
- ・自分が勉強し習得した事でボランティアに参加でき喜んでもらえた。
- ・日々会えない人に会える。身近な話が聞ける。色々な人と笑顔で話をする事。
- ・親睦、脳の活性化、心の健康もよい。
- ・朝決まった時間に起きて歩いていきラジオ体操をする。とても健康に良いと思う。

（知識が増えたなど）

- ・毎月 1 回の高齢者教室は楽しく知識が広がった。体操も元気になり続けたい。町内清掃も第 2 日曜日早めに出発しタバコ、空き缶、空ビン等袋いっぱい気持ちがよい。
- ・いろいろなボランティア活動があることを知り勉強になりました。自由に参加できるので気分が楽でした。

【良くなかった点（全回答）】

- ・人間関係。
- ・必要性をあまり感じない。

8. 自由記入

問 29. 最後に、自分の住む地域のこと、また、町内会・自治会等の地域活動について思うことなど、ご意見等がございましたらご記入ください。

多くのご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

(キーワード)

・地域のつながり ・地域コミュニティ ・新しいマンションの住人 ・世代を超えた活動 ・高齢者の安全対策 ・高齢者の買い物 ・仕事や子育て ・子供が巻き込まれる事故・犯罪の防止	・ライフスタイルが多種多様 ・防災面の情報共有 ・役員の負担 ・会長相当職務を分担・短期間 ・近所の人々での子育て支援 ・パトロール見回り活動 ・気軽に参加できる活動 ・ネットの活用
---	---

(意見 (一部))

- ・官舎やマンション等の多い地域なので子供やお年寄りが多い印象です。夫婦 2 人だと町内会等の活動はあまり魅力がありません。しかし、子供がいるとなると地域のつながりが必要になる気がしました。特に自分自身が転勤族ということもあるので、その場の地域の状況やコミュニティ支援があると心強いと思います。
- ・新しい時代になれば、昔のような町内会や自治会等の運営は無理なように思う。若い人たちで新しい町内会・自治会等を作り、運営してはどうだろうか。
- ・新しいマンションの住人もうまく入れるきっかけは何かと考えるが難しい。
- ・住民の移動が激しいので当然人とのつながりが疎遠になる。
- ・毎日忙しく、地域コミュニティに参加する体力がない状態です。
- ・町内会、敬老会、婦人会、子ども会と各々連携しているようでしていない。町内会だけでなく、学区として、小学校の運動会と町内会の運動会を同時（合同）開催するとか、学区の文化祭に町内会も参加するとか、世代を超えた活動が次世代へつなげる活動になるのではないかな。
- ・月 1 回でもいいから、高齢者、幼児、小学生との交流により、話をすることによって元気を取り戻してほしい。高齢者に手紙を書くことでもいいのでは。
- ・若い世代家庭も少ない上に昔と違い近所の関わりが少なくなっています。高齢者世帯が多いとなかなか難しいように思います。皆自分の生活で手一杯の様に思います。
- ・高齢者がどんどん増えていく中、よく転ぶ人を近所でたびたび見たり、聞いたりしている。高齢者の安全対策を協議する場がほしい。
- ・防災と水害などのアナウンスが聞こえない。
- ・収入が少ないから安い市営住宅にいますが、高齢で買物に不安を感じます。町内会、自治会等の助け合いのシステムを！
- ・役員等があると仕事と子育て世代には厳しいと思う。
- ・町内会は必要だと思います。ただ日常生活が仕事や子育てなどで忙しくてなかなか参加できません。参加しやすい社会になれば良いと思います。
- ・仕事がいつも忙しいので町内会、自治会などの地域活動の時間がなくて参加できない。
- ・子供が巻き込まれる事故や犯罪がなくなるための協力はぜひしたいと考えます。
- ・以前と比べて専業主婦は少なくなり夫婦共働きが一般的となっているなど、各家庭のライフスタイルは多種多様となっている。このことを踏まえた地域コミュニティのあり方を検討すべきだと思う。
- ・地域コミュニティに関心が無い人が多い気がする。

- 地域の情報が全くない。特に防災面については、情報共有化を図るべきだと思う。環境美化のため、定期的な清掃は必要ではないかと思う。
- 町内会は必要と思うが、自分は会長になりたくないと思う人が多くいる。（自分もその様な一人である）そこで、会長相当職務を複数で担うとか短期間にするとか、誰でも受けやすい方法がないでしょうか。行政側からなにがしのメリットを出来ないものでしょうか。
- 地域での集まりがまったくなくなりました。あった時でも一家族一名というのが暗黙のルールみたいなものがあり、発言しない男衆の集まりになっていた。男性の日、女性の日と最低2回の集会を予定されると活発な意見が出てくるのでは。
- 専業主婦で子育てしていると日中孤独を感じるため子育てを近所の人々で支援する仕組みや気軽に相談できる場や仕組みを求めます。
- 新しい家、マンションが増え、知らない人たちがどんどん増えて道がいつも混んでいる。朝のパトロールでも危ない場面が多々あるので自主的に参加できるような朝、下校時間等のパトロール見回り活動等あったらいいと思う。気軽に参加できるような活動のグループがあれば、意外とみなさん参加すると思うな。
- 何の抵抗もなく物事を議論できる場所があれば良い。
- 地域コミュニティは必要だと思うが、以前のように公平に負担を求めても応えてくれる人は少なくなった。負担が少なくて関わる事が出来れば、少しずつ改善していくのではないかと思う。
- 地域の活動などが大切だということは理解していますが、自分達の時間（仕事や子どもの習い事や家事など）で精一杯で、参加したり情報を集めたりすることができない状況です。そういった若い人は多いと思います。
- 子育てと仕事の両立で忙しく活動が出来る余裕がない。
- 町内会・自治会は大事だと思いますが、もう少しネットなど活用し、独身者も参加できれば良いと思います。人口構成比が高齢に傾いているのでまあ難しいだろうなと思います。ゆえに「サイバー町内会 クラウドファンディング ネット会議」のような包括的町内会を組織したら良いのになと思っています。
- 今はマンション住人だけで構成している自治会組織の役員として活動しており役員の負担が大きいことも実感していますが、近所や地域の方達とのつながりは大切だと感じています。歳を重ね、子供もいないので、老後のことを考えますと、さらに地域とのつながりを持っておかなければいけないと感じること、ここ数年多発している災害においても地域活動は大変重要であると思います。
- 町内会を中心とした地域コミュニケーションを強化する政策をすすめてもらいたい。
- 町内会などがあれば、地域の方々と交流になると思いますが、結局、参加したくない、めんどろだと思って入らない人が多いのだろうと思う。”町内会・自治会”という名前が古い日本の伝統のようでとっつきにくい印象ではないかと思う。